

株主優待

毎年3月31日(中間期末日)現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有されている株主さま1名につき、当社オリジナル製品「GREEN WOOD手造りジャム」1セットを贈呈いたします。家庭でつくるように、果実と糖と果汁のみで煮詰めました。果肉たっぷり、当社が自信をもってお勧めする製品です。

所有株式数100株以上

- いちごジャム ●ブルーベリージャム
- オレンジマーメイド

(各320g) **2,200円相当**



所有株式数1,000株以上

- いちごジャム
- ブルーベリージャム

(各530g) **3,820円相当**



3月31日(中間期末日)現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主さまが優待の対象

6月上旬に株主優待発送

TOPICS

「カンピー」公式インスタグラム(ID:kanpy0822)

「カンピー」ブランドでは、人気SNS「インスタグラム」に公式アカウントを開設しております。商品の紹介やアレンジメニューの提案など、より多くのお客さまに「カンピー」ブランドの魅力を知っていただけるよう情報を発信してまいりますので、ぜひご覧ください。



第74期 報告書

2019年10月1日から2020年9月30日まで



トップメッセージ	1
グループミッション/長期ビジョン	2
事業内容	3
連結決算概要	4
主要な事業の概況	5
連結財務・業績ハイライト	6
ニュース・クローズアップ①	7
ニュース・クローズアップ②	9
連結財務諸表	11
個別財務諸表	12
会社情報	13
株式情報/株主メモ	14



加藤産業株式会社

証券コード：9869



UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、食品流通業界におきましては、消費者の節約志向が根強く、消費税増税により生活防衛意識がさらに高まっております。一方で、食生活や購買行動の多様化が進み、小売業の業種・業態を超えた競争が激しくなっております。さらに、人手不足や働き方改革等に伴う物流を中心としたコスト負担も大きく、厳しい経営環境で推移いたしました。新型コロナウイルス感染拡大の影響に関しては、家庭内消費に関連する需要が増大する一方、外食関連の需要については減少傾向が続いております。

このような状況下において当社グループは、グループミッションである『豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること』を目指して、取引先とのコミュニケーションや取組み関係を強化し、提案型営業をさらに推進するなど卸売業としての営業機能を強化するとともに、自社ブランド商品の開発・拡売により収益の確保を図ってまいります。加えて、負担が増大する諸経費に関しては物流関連企業との連携強化や業務改革を推進することで生産性を向上させ、コスト削減及び経営の効率化を進めてまいります。

海外事業におきましては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置づけており、2020年10月にはマレーシア半島部中南部を営業地域とする Merison (M) Sdn. Bhd.の株式を取得して連結子会社とし、日本を含めたアジア地域における食品流通事業の一層の強化を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染拡大への対応につきましては、衛生管理と感染拡大防止策を徹底し、食品流通に携わる企業グループとして、引き続き食品の安定供給という社会的使命を果たしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月



代表取締役社長 加藤 和弥

社 是

能力を啓発し機能を充実し
生販両層にとって最も価値
ある存在として周囲の人々の
生活を豊かに実らせ 其處に
社会性を有する企業として
永遠の発展を礎きあげる。

加藤産業グループが次のステージへ挑戦するための、私たちの社会的使命と事業領域を定めた「グループミッション」「長期ビジョン」

私たちのミッションは、「豊かな食生活」を提供して、人々の幸せを実現すること。
私たちの全ての活動・取組みは、このミッションの達成を目指す。

Mission

私たちのミッション(使命)は、
食の生産の源となる自然の恵みを大切にし、
誰でも、安全で安心な商品が手頃な価格で手に入り、
季節性・地域性に富んだ多様な食を楽しみ、食文化を継承し、
育むことで家族の団らん・人々の絆を強め、
健康で健全な生活に貢献するような「豊かな食生活」を提供し、
人々の幸せを実現することです。

私たちのミッションを達成するための長期ビジョン(未来像)

Vision

「食のインフラ」になる
商品、情報、ロジスティクスの総
合力を発揮して、生活者の豊かな
食生活を支える基盤を作る

「食のプロフェッショナル」になる
食品流通に携わるプロとして知
識を蓄え、スキルを磨き、生活者
に豊かな食生活を提供する

「食のプロデューサー」になる
生活者が豊かな食生活を実現す
るために、「つなぎ」を実現し、
「食」が持つ価値を創造する





Private Brand

プライベート
ブランド

消費者や小売業様の多様なニーズにお応えするために、独自で商品の開発・製造・輸入を行っております。

Merchandising

お客様の買いたい商品を取り揃える商品調達力

(マーチャンダイジング)

総合食品卸売業として、4,000社を超えるメーカー様と取引をし、幅広い品揃えの商品を小売業様に卸しております。

Logistics

適切な時に適切なものを運ぶ物流システム

(ロジスティクス)

高度な物流技術で、必要な時に必要なものを必要な量だけ小売業様にお届けしております。

Retail Support

お客様のニーズにあわせた売り方や商品陳列を行う売場計画力(リテールサポート)

消費者のトレンドに基づいて小売業様の売場計画を立て、実行する。こうしたきめ細かい売場づくりのサポートをしております。

連結売上高

1兆1,046億95百万円

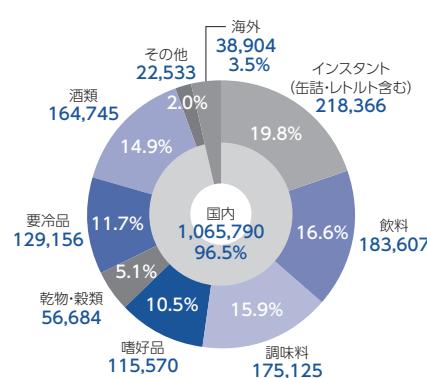
連結経常利益

132億 9百万円

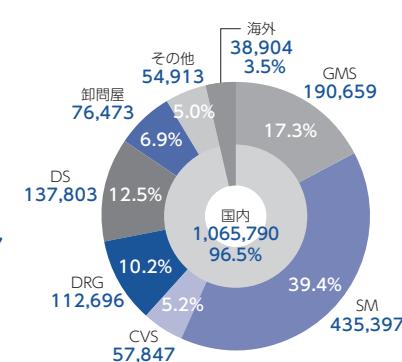
		来期(第75期) 予想	
売上高	1兆1,046億95百万円	前期比 3.9%増加 ↑	1兆1,300億00百万円 前期比 2.3%増加 ↑
営業利益	115億74百万円	前期比 7.2%増加 ↑	111億00百万円 前期比 4.1%減少 ↓
経常利益	132億 9百万円	前期比 5.6%増加 ↑	126億00百万円 前期比 4.6%減少 ↓
親会社株主に帰属する当期純利益	90億51百万円	前期比 26.6%増加 ↑	82億00百万円 前期比 9.4%減少 ↓

売上高構成(単位:百万円)

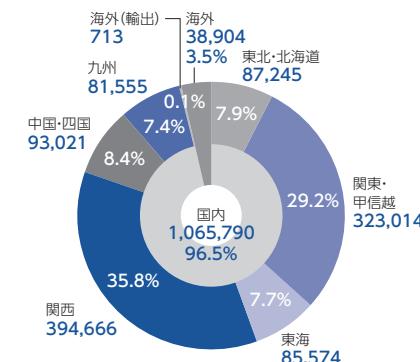
[商品群別売上高]



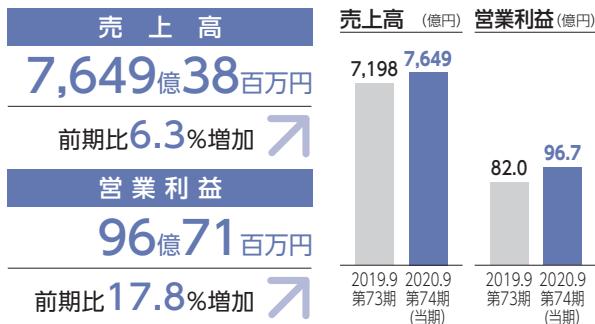
[得意先業態別売上高]



[地域別売上高]

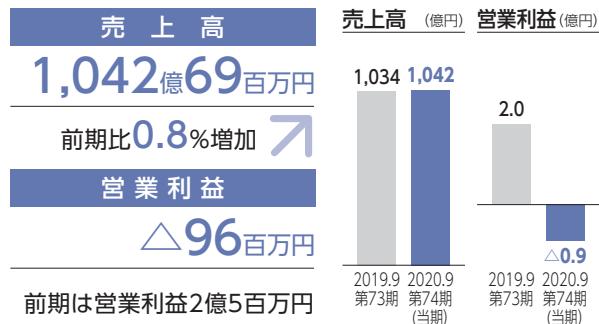


常温流通事業 (常温ドライ、家庭用食品)



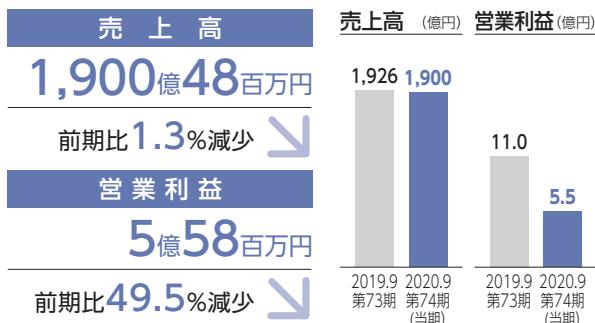
提案型営業をさらに推進し、仕入先との取組み強化及び得意先との関係強化を図るとともに、自社ブランド商品の開発・販売においてもブランド価値・商品価値の訴求を進め、物流関連業務の見直しや業務の標準化推進に取り組むことで生産性向上及び諸経費の抑制に努めた結果、新型コロナウイルスの影響により家庭内消費に関連する需要が増大したこともあり増収増益となりました。

低温流通事業 (チルド、冷凍、外食用食品)



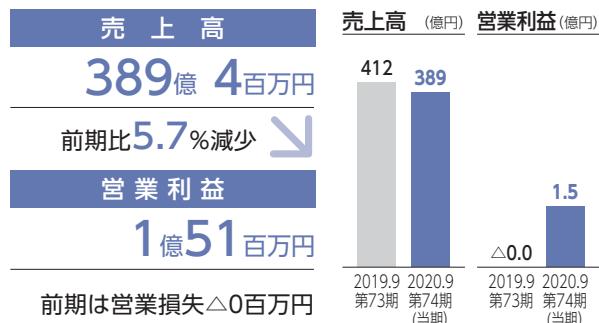
得意先への積極的な提案や新規開拓による売上拡大及び利益改善に努めるなかで、新型コロナウイルスの影響により家庭内消費に関連する需要が増大した一方、外食関連需要が大きく減少したことに加え、物流コストの負担増等により増収減益となりました。

酒類流通事業



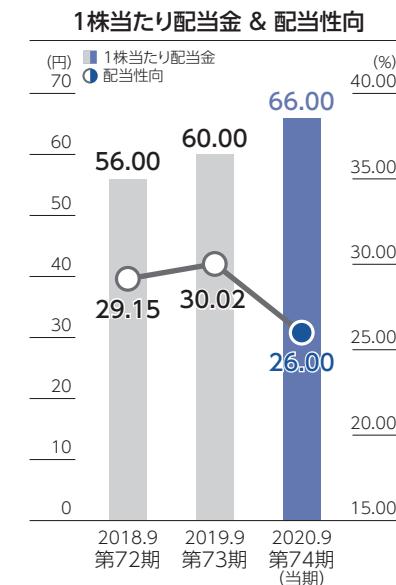
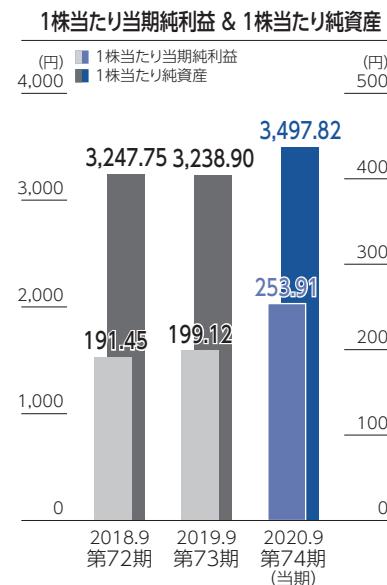
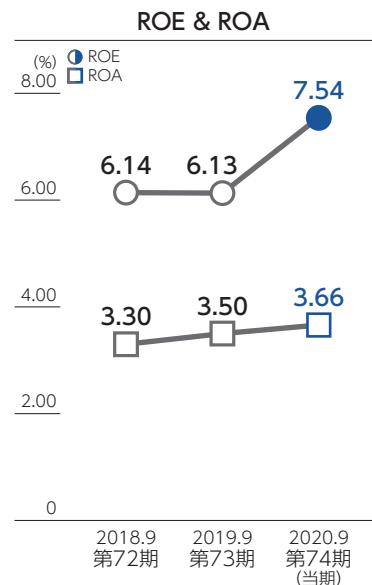
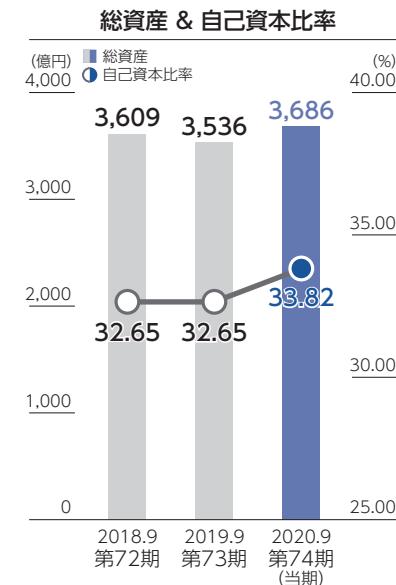
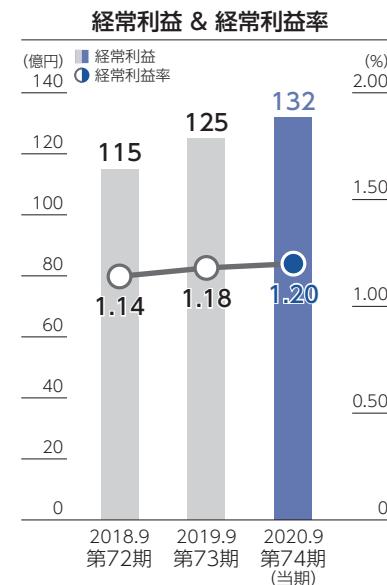
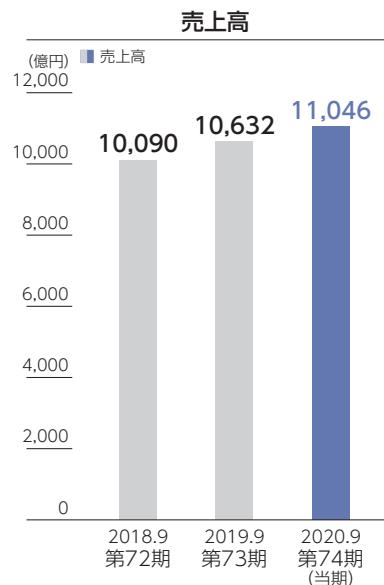
主要取引先との取組み強化及び自販力・提案型営業の強化を進めるとともに、商品毎の利益管理の徹底、業務の効率化や生産性の向上によるローコストオペレーションに取り組むなかで、新型コロナウイルスにより家庭内消費に関連する需要が増大したものの、消費税増税前の駆け込み需要に対する反動減及び外食関連需要の減少、物流コストの負担増等により減収減益となりました。

海外事業



取扱いブランドのうち不採算取引の見直し及び一部ブランドの取引形態の変更に加えて、新型コロナウイルスの影響による事業活動の制限も一部ありましたが、のれんの償却負担の影響により減収増益となりました。

※売上高及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。 ※営業利益は、のれん償却費を含んでおります。



マレーシアにおける食品卸売事業を強化

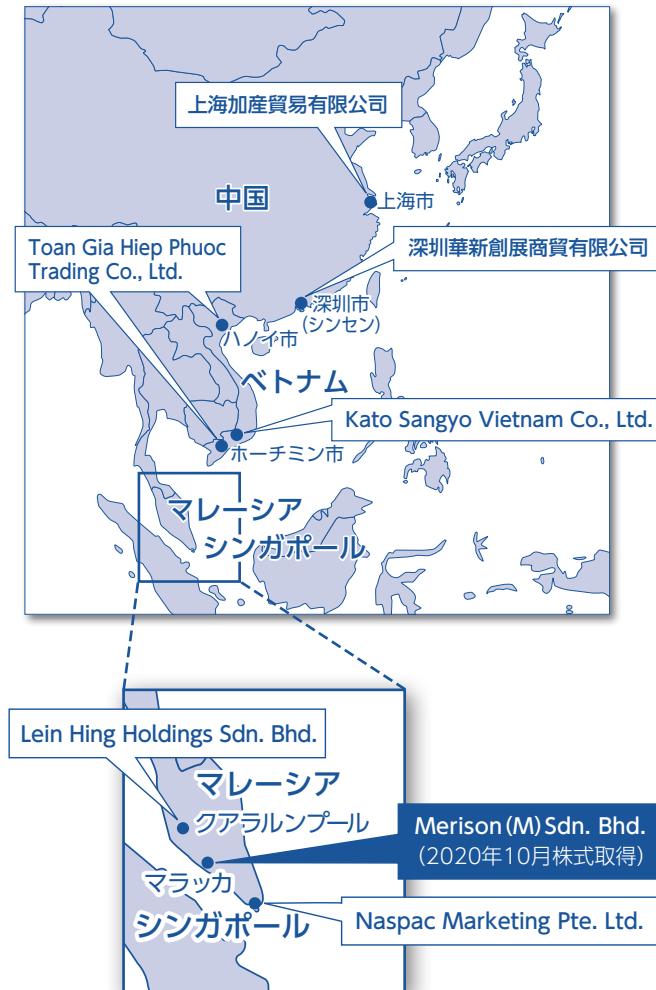
当社は、2020年10月にマレーシアに本社を置く Merison (M) Sdn. Bhd.(以下、Merison)の株式取得を完了いたしました。

Merisonは、マラッカやジョホールバルを中心としたマレーシア半島部中南部及び東海岸を営業地域とする卸売企業であり、主要な仕入先、得意先との強い取引関係を築き上げたことで、同国において確固たる地位を確立している有力卸売企業です。

当社グループは、すでにマレーシアにおいてクアラルンプール首都圏及び北部を中心に事業(Lein Hing Holdings Sdn. Bhd.他)を展開しておりますが、本件買収によりマレーシア第二の市場である南部市場へ進出することで、マレーシア半島部全域を営業地域とする同国最大級の卸売業グループとなります。

また、マレーシア南部(ジョホールバル)はシンガポールと隣接していることもあり、当社グループのシンガポール事業(Naspac Marketing Pte. Ltd.)とのシナジーも期待できます。

当社グループは、海外事業を今後の成長戦略の一つとして位置づけており、より一層の事業展開の強化を図り、企業価値の向上に取り組んでまいります。



【会社の概要】

社名：Merison (M) Sdn. Bhd. 資本金：2,000千リンギット
 売上高：417,191千リンギット(2019年度) ※1リンギット=約25円(2020年9月末現在)

「サプライチェーン イノベーション大賞2020 優秀賞」を受賞

経済産業省が主導する製・配・販連携協議会において、当社の物流効率化に向けたAI活用の取組みが評価され、「サプライチェーン イノベーション大賞2020」の「優秀賞」を受賞いたしました。

当社は、今後も「食のインフラ」として、サプライチェーン全体の最適化に向けて取り組んでまいります。

AI商品配置最適化システム

センターの特性にあわせた条件で庫内の商品配置改善案をAI・システムが自動作成し、管理者業務の省力化・分析レベルの標準化・商品配置の最適化を行います。

管理者業務の省力化・分析レベルの標準化
 保管効率のUP

ピッキング移動距離 **8.7%改善**
 ピッキング総作業時間 **5.5%改善**
 ピッキング生産性 **8.8%改善**

庫内最適の持続&
 改善業務の標準化を実現！

AI物流予測&シフト調整システム

物流波動の影響で発生する過剰人時の抑制や拠点ごとの人員配置計画を標準化し、当社における人員計画の高度化を図っております。

人員配置管理レベルのボトムアップ
 管理者業務の省人化・省力化
 過剰人時の抑制、人員配置計画の標準化

AI化により管理レベルの底上げ
 人員配置計画時間の削減
 物流波動に対し適正な物流予測と人員配置
 拠点ごとの人員計画レベルのバラつき解消

予実管理業務の省力化&
 人員配置計画の高度化を実現！

また、上記の取組みは日本ロジスティクスシステム協会においても高く評価され、「ロジスティクス大賞 業務革新賞」を受賞しております。

各賞の詳細につきましては、以下の二次元バーコードより各HPにてご覧ください。

(左) 経済産業省「サプライチェーン イノベーション大賞」

https://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/sci_2020.html

(右) 日本ロジスティクスシステム協会「2020年度ロジスティクス大賞 受賞3事例決定！」

<https://www1.logistics.or.jp/news/detail.html?itemid=333&dispmid=703>



上郡工場「オンライン工場見学」を公開

当社の製造拠点である上郡工場について、安全・安心へのこだわりをまとめた「オンライン工場見学」動画を、2020年10月よりカンピージャムサイト内で公開いたしました。

上郡工場は1970年の設立以降、当社の主力商品であるジャムやピーナッツバターを中心としたオリジナルブランド商品の製造を担ってまいりました。2004年にはISO9001及びHACCP認証を取得するなど、食を扱う企業の責任として製造工程のすべてに気を配り、安全・安心な商品づくりを徹底しております。

この度、公開いたしました「オンライン工場見学」では、商品ができあがるまでの工程と、安全・安心へのこだわりを実際の生産ラインに沿ってご紹介しております。

また、当社の安全・安心へのこだわりについては、カンピージャムサイト内にもページを設けてご紹介しております。ぜひご覧ください。

【動画公開先】
カンピージャムサイト
<http://www.katosangyo.co.jp/kanpy/>



新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、当社はお客様や従業員及びその家族をはじめとする全てのステークホルダーの皆さまの安全・健康を第一に考え、マスクの着用や手指のこまめな消毒、積極的な在宅勤務の活用等、感染拡大防止に向けた取り組みを実施しております。食品流通に携わる当社は、食品の安定供給という社会的使命を果たすべく、引き続き衛生管理と感染拡大防止を徹底の上、事業を継続してまいります。

CSR推進部 公式アカウント開設

この度、当社のCSR活動や環境問題、SDGsに対する取り組みの発信を目的として、Instagram及びツイッターにCSR推進部の公式アカウントを開設いたしました。

「流通を最適ソリューション」のコーポレートメッセージのもと、持続可能な社会発展の基礎となるべき地球環境に優しい企業活動を実施するとともに、適宜、情報を発信してまいりますので、ぜひご覧ください。



Instagram https://www.instagram.com/katosangyo_csr/?hl=ja
ツイッター https://twitter.com/Katosangyo_CSR



Instagram



ツイッター

CSRへの取り組み

グリーンウッド基金

従業員が自主的に行うクリーン活動(事業所周辺の清掃活動)に対して、会社から参加人数に応じた賛助金が拠出されることで「Katoグリーンウッド基金(GW基金)」を運営しております。GW基金運営の目的は、有志による社会貢献活動により会社から支援された資金を、幅広く社会貢献に還元することです。

2006年設立時より、当社拠点の周辺にある社会福祉法人や、福祉活動を行うNPO法人等への寄付を行ってまいりました。2020年度は、新型コロナウイルスの脅威に対して、医療分野で多大な尽力をいただいている医療従事者の方々を支援することを目的に、緊急支援金として2団体を選定して寄付を行いました。

これからも従業員によるボランティア活動を通して、社会貢献をする企業を目指してまいります。



連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2020年9月30日現在	前連結会計年度 2019年9月30日現在
資産の部		
流動資産	249,141	236,244
固定資産	119,534	117,388
有形固定資産	43,624	41,986
無形固定資産	5,784	5,081
投資その他の資産	70,125	70,320
資産合計	368,676	353,633
負債の部		
流動負債	214,255	210,082
固定負債	24,857	23,647
負債合計	239,112	233,729
純資産の部		
株主資本	109,890	103,085
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,760	8,760
利益剰余金	101,745	94,939
自己株式	△6,550	△6,549
その他の包括利益累計額	14,807	12,382
その他有価証券評価差額金	15,344	12,635
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△841	△559
退職給付に係る調整累計額	302	306
非支配株主持分	4,866	4,435
純資産合計	129,563	119,903
負債純資産合計	368,676	353,633

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自 2019年10月1日 至 2020年9月30日	前連結会計年度 自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高	1,104,695	1,063,219
売上原価	1,031,367	992,406
売上総利益	73,327	70,812
販売費及び一般管理費	61,753	60,017
営業利益	11,574	10,795
営業外収益	2,002	2,094
営業外費用	367	382
経常利益	13,209	12,507
特別利益	644	755
特別損失	187	1,315
税金等調整前当期純利益	13,666	11,947
法人税、住民税及び事業税	4,353	4,155
法人税等調整額	△51	71
当期純利益	9,364	7,720
非支配株主に帰属する当期純利益	313	571
親会社株主に帰属する当期純利益	9,051	7,148

Point 2

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自 2019年10月1日 至 2020年9月30日	前連結会計年度 自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	15,193	17,132
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,231	△6,790
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,008	△4,479
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△94	△37
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	7,859	5,825
現金及び現金同等物の 期首残高	75,588	69,774
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	—	△11
現金及び現金同等物の 期末残高	83,447	75,588

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

Point 1

連結損益計算書

売上高

得意先との関係強化等に加えて、新型コロナウイルスの影響により家庭内消費に関連する需要が増大したこともあり前期に比べて3.9%増加し、1兆1,046億95百万円となりました。

Point 2

連結損益計算書

親会社株主に帰属する当期純利益

営業機能の強化及び自社ブランド商品の拡販を図るとともに、物流業務の効率化や業務改革の推進に取り組んだ結果、投資有価証券売却益等の影響もあり前期に比べて26.6%増加し、90億51百万円となりました。

貸借対照表 (単位：百万円)

科目	当事業年度 2020年9月30日現在	前事業年度 2019年9月30日現在
流動資産	198,253	184,341
固定資産	113,742	110,887
有形固定資産	36,643	35,050
無形固定資産	4,984	3,802
投資その他の資産	72,113	72,035
資産合計	311,996	295,228
流動負債	171,415	164,322
固定負債	21,819	20,730
負債合計	193,234	185,053
純資産合計	118,761	110,175
負債純資産合計	311,996	295,228

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

損益計算書 (単位：百万円)

科目	当事業年度 自 2019年10月1日 至 2020年9月30日	前事業年度 自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高	759,478	712,146
売上原価	709,226	664,880
売上総利益	50,251	47,266
販売費及び一般管理費	39,714	38,314
営業利益	10,537	8,952
経常利益	11,786	10,273
当期純利益	8,496	6,803

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

会社概要 (2020年9月30日現在)

名称	加藤産業株式会社
設立	1947年(昭和22年)8月22日
本社	兵庫県西宮市松原町9番20号
事業内容	総合食品卸売業、カンピー製品製造発売元
資本金	59億3,405万円
従業員数	1,105名

役員(取締役・監査役)及び執行役員 (2020年12月18日現在)

代表取締役社長	加藤和弥	執行役員	小野 聡
専務取締役	山中謙一	執行役員	西本忠司
常務取締役	太田尚史	執行役員	明石 誠
常務取締役	中村考直	執行役員	和田陽一
常務取締役	菅 公博	執行役員	金子潤一
取締役	日比啓介	執行役員	松村 努
取締役	打田雅俊	執行役員	井原 太郎
取締役	次家成典	執行役員	中谷 勤
社外取締役	八十川 祐輔	執行役員	池内 斉
社外取締役	海 保理子	執行役員	大西高司
常勤監査役	中島嘉幸	執行役員	松浦博幸
社外監査役	山村幸治		
社外監査役	森内茂之		

主要グループ会社 (2020年9月30日現在)

会社名	事業内容	売上高 (百万円)	
国内	◎ 三陽物産(株)	酒類・食品卸売業	127,856
	◎ ケイ低温フーズ(株)	低温食品卸売業	104,269
	◎ ヤタニ酒販(株)	酒類・食品卸売業	62,734
	◎ カトー菓子(株)	菓子卸売業	8,311
	◎ (株)植嶋	菓子卸売業	5,078
卸売業	◎ Lein Hing Holdings Sdn. Bhd.	食品・日用雑貨卸売業	1,381 百万MYR
	◎ Naspac Marketing Pte. Ltd.	食品卸売業	31,231 千SGD
	◎ Toan Gia Hiep Phuoc Trading Co., Ltd.	食品卸売業	204,148 百万VND
	○ Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.	食品卸売業	120,561 百万VND
	○ 上海加産貿易有限公司	食品卸売業	11,135 千人民币
海外	△ 深川華新創展商貿有限公司	食品卸売業	294,999 千人民币
	◎ マンナ運輸(株)	運送業	5,392
物流	◎ カトーロジスティクス(株)	運送業	4,944
メーカー	◎ 和歌山産業(株)	食品製造業	3,339
	○ 兵庫興農(株)	食品製造業	1,181
外食	◎ (株)アドバンス・キッチン	飲食業	224
その他	◎ 加藤不動産(株)	損害保険代理店業	221
	◎ 加藤SCアジア インベストメント(株)	海外事業投資業	—

◎=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

株式の状況 (2020年9月30日現在)

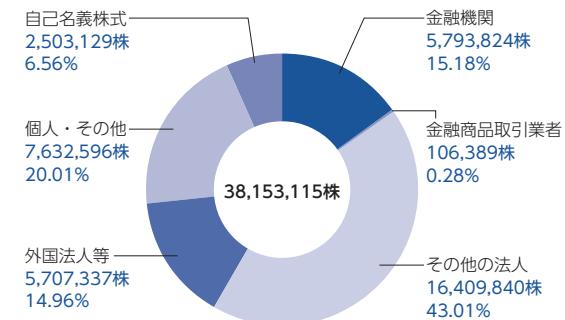
発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	38,153,115株
株主数	6,087名(内、単元株所有者数: 5,699名)

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三井物産株式会社	3,153	8.84
住友商事株式会社	1,931	5.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,798	5.04
三菱商事株式会社	1,787	5.01
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,016	2.85
加藤和弥	953	2.67
株式会社加藤興産	850	2.38
キューピー株式会社	841	2.35
ハウス食品グループ本社株式会社	838	2.35
カゴメ株式会社	731	2.05

(注) 1. 当社は自己株式2,503,129株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
 2. 持株比率は自己株式(2,503,129株)を控除して計算しております。
 3. 2020年7月27日付で、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、資産管理サービス信託銀行株式会社、JTCホールディングス株式会社は合併し、株式会社日本カストディ銀行に商号変更しております。

所有者別分布状況



※1単元の株式数=100株

事業年度 10月1日～翌年9月30日
 期末配当金受領株主確定日 9月30日
 中間配当金受領株主確定日 3月31日
 定時株主総会 毎年12月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 〒541-8502
 (お問い合わせ先) 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 電話(通話料無料)0120-094-777
 公告方法 日本経済新聞に掲載する方法により行う

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)でお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。